令和８年７月 14 日

スポーツ振興課作成

資料 2-3

令和７年度の事業評価及び令和８年度の事業概要について

基本目標Ⅲ　スポーツによる賑わいとまちづくりの推進

推進項目

（１）スポーツツーリズムの推進
（２）スポーツを通した地域コミュニティの維持・再生
（３）プロスポーツチーム等との連携

◆…改善の余地がある事業

施策の実施内容（DO）

○交流人口の拡大を目的としたスポーツツーリズムに取り組むため、「第 14 回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」を開催。実施種目をハーフと 10 キロに加え、新たに 5 キロの種目を設け、全国 28 都道府県から 1,678 名のエントリーをいただいた。

○前回大会と比較すると、全体の参加者は 342 名増（3 都道府県増）、市内の参加者は 148 名増となっており、市民の本大会に対する関心や健康に対する意識が向上していると考えられる。

○今大会から、市内高校生及び東北公益文科大学生にもボランティア協力を呼び掛け、高校生 41 名、大学生 3 名の申し込みがあった。

○完走者へフィニッシャーズタオルを配布した（完走率 98.8%）。

○今大会ではフィニッシュ後に、いも煮と、生麺をその場で茹でた「酒田のラーメン」を用意し、つや姫おにぎりと共にランナーへ庄内の味を振る舞った。

○市スポーツボランティア会の活動実績は、県縦断駅伝競走大会での中継所運営や、スポーツフェスティバルでの受付業務を依頼したほか、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会で給水所などでのボランティア活動に協力していただいた（R8.3 月末の会員数は 26 名）。

○ニュースポーツの普及に加え、地域住民等みんなでスポーツを楽しむことで健康・体力の増進を図り、明るく住みよい地域づくりを推進することを目的に、第 2 回目となる「酒田市スポーツフェスティバル 2025」を開催した。カローリング、モルックの大会と各種体験会など 1 日を通してスポーツの楽しさを満喫できるイベントとなった。大会参加者 58 チーム 230 名、体験会参加者延べ 775 名が会場である INPEX 酒田アリーナを訪れた。

◆子どもや子育て世代が運動遊び教室に来場し、第 1 回大会と比較して子どもの参加者数は増加したものの、全体としての大会参加者は少なかった。また、午後から開催した体験会においても、参加者数が伸び悩む結果となった。

施策としての現状評価（CHECK）

〇湊酒田つや姫ハーフマラソン大会は、これまでの開催実績により市民から親しまれており、また全国的にも知名度を上げている大会であることから、施策を推進するためには事業の継続が必要である。

〇湊酒田つや姫ハーフマラソン大会や市駅伝競走大会はランナーとしての参加だけでなく、交通誘導等のボランティアや観客として参加する方々も多く「する」「みる」「ささえる」スポーツの場となっている。市民ボランティアと地元企業等の積極的な協力により、参加者と市民の一体感が回を重ねるごとに増し、酒田市ににぎわいを創出することができた。

〇賑わいを生み出すスポーツイベントの開催には、各地区体育・スポーツ振興会やスポーツ推進委員会等の関係団体による協力が不可欠である。また、地域のスポーツ活動において中心的に活躍してきた方々の知識や経験を活用する仕組みとして、スポーツボランティア会の活動は施策を推進する上で極めて有効であると考える。

〇ニュースポーツの普及に加え、地域住民等みんなが参加しやすいイベントとして、市スポーツフェスティバルを開催したが、今後もスポーツを通じて健康・体力の増進を図り、明るく住みよい地域づくりを推進するために、イベント内容をブラッシュアップして継続開催する必要がある。

※スポーツコミッションの設立予定はないが、各地区体育・スポーツ振興会や酒田市スポーツ推進委員会の活動をはじめ、プロスポーツチームや関係団体と連携して、交流人口の拡大、地域経済の活性化、市民の健康増進など、「スポーツによるまちづくり」「地域コミュニティの維持・再生・強化」等に取り組んでいると考えている。

改善の内容（ACTION） ／ 令和８年度以降の計画（PLAN）

・湊酒田つや姫ハーフマラソン大会は、令和８年度以降、新たに「2km の部（小学生・中学生・ファミリー対象）」を新設する。健康増進と子どもの運動習慣の定着を図るとともに、家族での参加を促すことで交流の場となることを目指す。今後は、既存の種目と合わせた総合的な満足度の向上に努め、市民のスポーツへの関心を高めつつ、持続可能な大会運営と交流人口の拡大を推進していく。

・市スポーツフェスティバルについては、子ども達が参加できる内容にブラッシュアップしながら、世代に関係なく、多くの市民がスポーツに親しむことができるイベントになるよう各地区体育・スポーツ振興会やスポーツ推進委員会等の関係団体と協議を進めていく。

・今後もスポーツ関係団体と連携を図りながら、交流人口の拡大、地域経済の活性化、市民の健康増進など、「スポーツによるまちづくり」を進めていく。

数値目標

		指標値（R11）	現状値
KPI	湊酒田つや姫ハーフマラソン大会・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会における交流人口（市外・県外）	1,600人	1,117人

関連事業

No.	事　業　名	指　標			事業費（千円）
		指標名	単位	R6 年度	R7 年度(決算)
				R7 年度	R8 年度(予算)
1	スポーツツーリズム推進事業	湊酒田つや姫ハーフマラソン大会・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会における交流人口（市外・県外） ※スポーツ推進計画の改訂により、R8 年度より KPI が湊酒田つや姫ハーフマラソン大会のみとなる	人	923	15,464
				1,117	14,070

（事業概要）
〇スポーツを通じた交流人口の拡大を図るため、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会実行委員会に対し負担金を支出する。
〇湊酒田つや姫ハーフマラソン大会をはじめとした、市内で開催される競技大会等のスポーツイベントをサポートするスポーツボランティア人材を育成する。
〇交流人口の拡大を目的とした全国や東北大会等の大規模スポーツイベント開催へ補助金を交付する。

2	スポーツによる地域コミュニティ活性化事業	スポーツ行事への参加者数	人	36,038	600
				39,401	0

（事業概要）
〇ニュースポーツの普及に加え、市民が一堂に会し、家族やサークル仲間、地域住民等みんなでスポーツを楽しむ機会を創出するため、市スポーツフェスティバル実行委員会に対し負担金を支出する。
〇地域の連帯感の醸成と参加者同士の交流を図り、明るく住みよいまちづくりを推進するとともに、市民の健康保持と体力づくりを推進するため、市駅伝大会実行委員会に対し負担金を支出する。
（令和 8 年度予算より、生涯スポーツ推進事業へ予算付け）